

サステナビリティ経営

サステナビリティ経営

指標および目標

新中期経営計画期間における指標および目標 GRI 3-3

「2030中期経営計画」期間中のマテリアリティについては、以下のとおり、ありたい姿とKPIを設定しています。Purposeの実践と社会価値創造Vision「Empower Humanity ～世界に革新と安心を届ける」の実現に向け、注力して取り組みます。

A 最も重要性の高いテーマ		
マテリアリティ(略称)	2030年にありたい姿	課題解決に向けた2030年度KPI
人権尊重を最優先にしたAIの社会実装 (AIと人権)	・進展著しいAI技術に起因する人権リスクへの対応体制と運用を定着させ、グループ各社へ展開している	・リスク対応力の継続的強化 ・「NECグループAIと人権に関するポリシー」実践のための教育の実効性評価 ・インシデント予防・対応体制の維持 ・重大インシデントの発生件数0件
サイバー攻撃などからデジタル社会を守るセキュリティの提供 (セキュリティ)	・クライアントゼロの実績とノウハウをもとに、顧客にセキュリティサービスを提供し、サイバー攻撃などからデジタル社会を守る ・国内外のNECグループ会社・お取引先におけるサイバーセキュリティやAIのガバナンス強化を図るとともに、最先端技術やAIを活用した高度なセキュリティを実現している	・グローバルトップレベルの自社セキュリティ対策を実現 (第三者レーティングスコア (Bitsight) :800) ・国内最大級のセキュリティデータから独自インテリジェンスを生成・提供 ・先進的で信頼できるセキュリティ製品・サービスを提供 ・当社および連結子会社における重大インシデント0件
適正なデータ価値創造のための責任あるプライバシー保護 (プライバシー)	・個人情報を取り扱う事業に関わるすべての者が法令を理解しその内容を遵守し人権やプライバシーに配慮した事業活動を遂行している	・当社における個人情報保護マネジメントシステムの適切な運用 (毎年の従業員教育や委託先の監督を含む)と改善 ・重大な個人情報漏えいの発生件数0件
雇用と働き方の改革を実現するAIの利活用 (AIと雇用)	・AIベースのオペレーションを梃に、労働生産性向上とイノベーション創出を推進する	・AIベースのオペレーションを梃に、労働生産性向上とイノベーション創出を推進
インクルーシブカルチャーで新たな価値の提案・提供を促進 (I&D)	・女性に限らず、個人のパフォーマンスが最大限発揮できるようなインクルーシブカルチャーを実現し、多様な人材が躍動している	・当社および主要な国内連結子会社5社の女性管理職比率 20％ (2030年度内に決定された2031年4月1日付異動を含む) ・2026年度* ダイバーシティスコア 55% (+2pt) *2026年度は現サーベいで測定。2027年度以降はインクルーシブ度合いを計測する新KPIを設定

B 財務に与えるリスクと機会の大きいテーマ		
マテリアリティ(略称)	2030年にありたい姿	課題解決に向けた2030年度KPI
持続的な価値創造の基盤となるコーポレート・ガバナンスの進化 (コーポレート・ガバナンス)	・NECグループのグローバル成長に向けたガバナンス体系の再構築と浸透	・全社ルール体系の整備と展開、国内外のNECグループ会社への適用 ・NECグループ会社の特性をふまえた適切なガバナンスの実践
ゆるぎないインテグリティに根差したコンプライアンスの徹底 (コンプライアンス)	・重大なカルテル・談合行為の発生件数0件 ・重大な贈収賄行為の発生件数0件	・重大なカルテル・談合行為の発生件数0件 ・重大な贈収賄行為の発生件数0件

C 環境・社会に対するインパクトが大きいテーマ		
マテリアリティ(略称)	2030年にありたい姿	課題解決に向けた2030年度KPI
バリューチェーンの環境負荷の可視化と抑制 (気候変動)	・RE100に則り2040年までに再生可能エネルギー100%を目指し、その中間地点にあたる2030年については、SBTネットゼロ目標達成を意識した再エネ導入比率を達成する ・SBT目標 (2034年度までに2024年度比でScope 1、2およびScope 3をそれぞれ63.6%以上削減)の達成に向け、脱炭素化を推進する	・2030年再生可能エネルギー導入比率58%の達成 (SBTネットゼロ目標達成に合わせた目標設定) ・当社が提供するCO ₂ 削減支援プログラムへの主要調達取引先の参加率 2030年度90%
サプライチェーン上の人権尊重の推進 (サプライチェーン上の人権)	・調達取引先と協働して、人権リスク発生の防止・軽減を目指す	・高リスクと評価された調達取引先の是正完了率100% ※是正の働きかけは1年程度の期間にわたり取り組んでいるため、2030年度KPIは2029年度に是正を促したお取引先の2030年度末の是正完了率とする
従業員の安全確保と健康増進 (従業員の安全と健康)	・組織のメンバーが個の侵害を受けることなく、チーム全体で成果を発揮している ・AIも活用し、過度な長時間労働を改善・撲滅。適切な労働時間で働ける環境を整え、一人ひとりが良好なコンディションでパフォーマンスを発揮している	・エンゲージメントスコア 上位25パーセンタイル水準 (Global Top Tier)

Index

サステナビリティ経営

- ・サステナビリティ経営

環境

社会

ガバナンス

付表・データ集

